

## Titles of articles in botanical journals

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.24517/00053573">https://doi.org/10.24517/00053573</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



## 植物関連雑誌のタイトル紹介

植物自然史研究のローカルな話題や特定の分類群の研究情報を紹介する目的で、1999（平成11）年から各地の博物館、植物園、植物（生物）研究団体、試験研究機関などの研究報告書に掲載された植物関連論文のタイトルを紹介してきた。これらは植物地理・分類学会に交換寄贈された雑誌の他、富山市科学博物館、富山県中央植物園の蔵書を閲覧し収載したものであるが、最近では各雑誌の発行元や関係団体がインターネット上で刊行物の内容を公開するようになり、雑誌名で検索すればタイトルだけでなく論文そのものをPDFで閲覧しダウンロードできることが多くなった。そこで、発行機関のホームページ等で閲覧可能な雑誌については、URLと公開情報を併せて紹介した。

## ○利尻研究

（〒097-0311 利尻郡利尻町仙法志字本町136 利尻町立博物館）

<http://riishiri.sakura.ne.jp/Sites/RS/> 第1号（1982年）から全論文のタイトルを掲載、23号以前は一部論文の、24号以降は全論文のPDFダウンロードが可能。

第32号 2013年3月—五十嵐 博：利尻島・礼文島・天売島・焼尻島・奥尻島の外来植物目録（19-27）／佐藤雅彦・志田祐一郎：杏形地区テムラス上の植物相（2）利尻島西部のテムラス上にみられるシダ類および種子植物（63-69）

第33号 2014年3月—大沼弘樹・近藤哲也・吉田恵理：リシリヒナゲシに近縁な栽培ヒナゲシの種子貯蔵（1-5）

## ○知床博物館研究報告 第35集 2013年5月

（〒099-4113 斜里郡斜里町本町49-2 斜里町立知床博物館）

<http://shir-etok.myftp.org/shuppan/kempo/kempo> 第1集（1979年）から目次を掲載、第24集（2003年）から論文PDFを公開。第34集、36集には植物関連論文はない。

高橋英樹：宮部金吾博士によって「斜里山道」で採集された植物標本の産地（1-4）

## ○ひがし大雪自然館研究報告 第1号 2014年3月

（〒080-1408 河東郡上士幌町字ぬかびら源泉郷48-2 ひがし大雪自然館（ひがし大雪博物館は平成24年10月に閉館、再編されたひがし大雪自然館が平成25年5月に開館））

北海道博物館協会学芸職員部会による「集まれ！北海道の学芸員」のホームページで目次の閲覧が可能  
<http://www.hk-curators.jp/archives/1778>

岡崎智鶴子・小林和貴・三田直樹・金井 豊・早坂英介・寺澤弘陽・米倉浩司・大山幹成・鈴木三男・吉光見稚代・毛利千春・御影雅幸：マイクロ波と乾燥用特殊ユニットによる植物標本の迅速乾燥と吸水復元に関する解剖学的検討（9-14）／乙幡康之：大雪山国立公園、東雲湖及びその登山道におけるミズゴケ類（15-19）

## ○小樽市総合博物館紀要 第26号 2013年3月

（〒047-0041 小樽市手宮1-3-6 小樽市総合博物館）

「集まれ！北海道の学芸員」のホームページ <http://www.hk-curators.jp/> で最近号の目次を閲覧できる。第25号、27号には植物関連論文はない。

小樽野草愛好会：小樽市朝里川流域の植物相（9-25）

## ○フロラ福島 第29号 2013年12月

（〒960-8117 福島県福島市入江町15-23 五十嵐 彰方 福島県植物研究会）

蓮沼憲二：福島県加藤谷川流域のエドヒガンと会津地方における潜在的な分布（1-12）／蓮沼憲二・山田恒人・小野正喜：福島県会津地方のスミレ科植物（13-22）／片野伸雄：五百淵公園の植生（23-33）／吉田一右：福島県レッドデータブックで未評価とされているスギランと絶滅危惧I類のクモランを鮫川流域で確認（35-37）／本多 隆：イヌフグリが猪苗代に（38）／野中俊夫：中津川（福島市飯坂町茂庭）のエゾエノキ（*Celtis jessoensis* Koidz.）と残存するブナ（*Fagus crenata* Blume）（39-41）／湯沢陽一：ヒメボシタイトゴメいわき市に帰化（42）／菅野修三：鮫川・夏井川（いわき市）河岸のヤナギ（43-46）／五十嵐 彰・片野伸雄・須賀紀一・鈴木浩一・野中俊夫・樋口利雄・渡部秀哉：日山の植物 2 溪谷林群落（47-51）／菅野修三・

湯澤陽一・湯澤幸代・伊賀和子・根本秀一：相馬市の植物群落Ⅲ ミズナラ林 (53-56) / 薄葉 満：福島県産水・湿地生植物新報知 6 (57-63)

○秋田県立博物館研究報告 第39号 2014年3月

(〒010-0124 秋田市金足嶋崎字後山52 秋田県立郷土館)

<http://homepage3.nifty.com/akitamus/publication/report/report.htm> 第1号 (1975年) からの全論文タイトルを掲載, 最新号は論文PDFを公開。38号には植物関連論文がない。

永井 元：博物館周辺で観察された数種の虫癭 (1-2)

○秋田自然史研究

(〒010-0873 秋田市千秋城下町8-18 田中政行方 秋田自然史研究会)

<http://akita-nathist.o.oo7.jp/mokuji.htm> 第1号 (1973年) から全論文タイトルを掲載。

第61号 2012年2月—高田 順：秋田県水草分布図 (5) (6-11) / 沖田貞敏：秋田県のリュウキンカ属植物について (12-16)

第62号 2012年11月—脇坂良子・佐藤 隆：希少な植物の採集記録 (1-2) / 高田 順：秋田県水草分布図 (6) (3-4) / 高田 順：秋田県フロラ資料 (19) (5-7)

第63号 2013年2月—尾崎保夫・吉川進太郎・館田千春・林 紀男：埋土種子を用いた沈水植物再生に及ぼす濁度と光量子の影響 (1-6) / 沖田貞敏：フクジュソウの観察 ミチノクフクジュソウについての疑問 (12-15) / 沖田貞敏：秋田県のリュウキンカ属植物について (2) (16-19) / 沖田貞敏：秋田県植物分布資料 (9) (20-21)

第64号 2013年11月—高田 順：秋田県フロラ資料 (20) (1-5) / 沖田貞敏：乙越沼の植物について (6-15)

○フロラ山形 No. 69 2013年12月

(〒990-0826 山形市霞城町1-8 山形県立博物館内 フロラ山形事務局)

高橋信弥：2013年山形県フロラの動向 (1-11) / 沢 和浩：2013年植物調査の中から (12-15) / 水野重紀：庄内地域の興味ある植物 (Ⅱ) (16-17) / 大類雄一：酒田市宮海でムベを確認 (18-19) / 大類貞夫：最上町の植物—最上町自然環境現況調査会植物班 (21-22) / 土門尚三・高橋信弥：山形県最上町の鉄道沿線スギ植林地シダ植物相 (23-26) / 鈴木 暁：2013年 草木散歩より (27-30) / 志鎌節郎：2013年に出会えた植物 (31-32) / 佐藤定四郎：水晶山の風穴群とハシドイ風穴の群落について—その4— (33-34) / 大類雄一：アオテンマの確認 (35) / 門間久右衛門：蔵王・五色岳 コマクサの誘い (2013 Transit Bookより) (36-42) / 土門尚三：矢田部良吉一行の月山・鳥海山採集旅行はなぜ明治20年7月16日に東京を出発したか (43)

○群馬県立自然史博物館研究報告 第18号 2014年3月

(〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1 群馬県立自然史博物館)

[http://www.gmnh.pref.gunma.jp/research/report\\_rese.html](http://www.gmnh.pref.gunma.jp/research/report_rese.html) 第1号 (1996年) から第8号 (2004年) までは目次を, 第9号 (2005年) 以降は全論文をPDFで公開。第16号, 第17号には植物関連論文がない。

大森威宏：群馬県南西部・安中市大谷地区の竹林の拡大過程について (151-156) / 春山明子・須田けい・坂庭浩之：城山におけるニホンジカによる木本植物の食害状況について (203-210)

○茨城県自然博物館研究報告 第16号 2013年12月

(〒306-0622 茨城県坂東市大崎700 ミュージアムパーク茨城県自然博物館)

[http://www.nat.pref.ibaraki.jp/publish/study\\_report.html](http://www.nat.pref.ibaraki.jp/publish/study_report.html) 第1号 (1998年) から全ページをPDF公開。

鶴沢美穂子・池田 博・樋口正信：千葉県元清澄山で1937年に採集されたキノボリツノゴケ—東京大学より寄贈された佐藤正己コケ植物標本から— (69-72) / 栗原 孝・小幡和男：桜川の維管束植物 (73-104)

○埼玉県立自然の博物館研究報告

(〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀨町長瀨1417-1 埼玉県立自然の博物館)

[http://www.shizen.spec.ed.jp/?page\\_id=116](http://www.shizen.spec.ed.jp/?page_id=116) 第1号 (2007年) から論文タイトルと要旨を掲載。第6号, 7号には植物関連論文がない。

## ○小笠原研究年報 第37号 2014年5月

(〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 首都大学東京 理工学研究科内 首都大学東京小笠原研究委員会)

[http://www.tmu-ogasawara.jp/ogasawara\\_index.html](http://www.tmu-ogasawara.jp/ogasawara_index.html) 第1号(1977年)から目次を掲載。

島田律子：桑ノ木山のシマホルトノキ突然枯死について(81-84) / 島田律子・後藤雅文：父島「水ノ下」海岸におけるオガサワラアザミの食害(85-88) / 向 哲嗣・川口大朗・勝部五葉：母島の歩道周辺でみられる希少植物の分布調査(89-96)

## ○Ogasawara Research No. 40 2014年3月

(〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 首都大学東京 理工学研究科内 首都大学東京小笠原研究委員会)

[http://www.tmu-ogasawara.jp/ogasawara\\_research\\_index.html](http://www.tmu-ogasawara.jp/ogasawara_research_index.html) Nos. 1 & 2 (1978年) から目次を掲載。

畑 憲治・川上和人・可知直毅：西島のトクサバモクマオウが優占する森林におけるトクサバモクマオウ駆除後の土壌含水量の時間変化(英文)(1-9)

## ○神奈川県立博物館研究報告 自然科学

(〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499 神奈川県立生命の星・地球博物館)

<http://nh.kanagawa-museum.jp/kenkyu/bulletin/> 第1号(1968年)から第23号(1994年)までは目次のみ、第24号(1995年)から第31号(2002年)まではAbstract(要旨)のみ、第32号(2003年)から第41号(2012年)まで全論文をPDFで公開。

第42号 2013年2月—勝山輝男：静岡県麻機遊水地で発見された日本新産帰化植物アサハタヤガミスゲ(新称)(7-12) / 田中徳久：標本庫の標本に基づいて明らかにされたカワラノギクの分布域(23-34) / 勝山輝男・田中徳久・大西 亘：ツェンベリーの日本植物誌に記録された箱根産植物(35-62) / 大西 亘・田中徳久・勝山輝男：ウブサラ大学博物館のツェンベリーコレクションに含まれる日本産野菜類の最古の標本(63-70)

第43号 2014年2月—田中徳久・勝山輝男・大西 亘・木場英久：古瀬 義氏採集の植物コレクションに含まれる基準標本(33-62)

## ○神奈川自然誌資料

(〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499 神奈川県立生命の星・地球博物館)

<http://nh.kanagawa-museum.jp/research/nhr/> 第1号(1980年)から第25号(2004年)までは目次のみ、第26号(2005年)以降は全論文をPDFで公開。

第34号 2013年2月—小久保恭子・佐藤恭子・金井和子：神武寺周辺(神奈川県逗子市)のコケ植物相(11-20)

第35号 2014年2月—小嶋紀行：希少種ササバギランの生育環境特性：横須賀市久里浜におけるマテバシイ植林の事例(1-6)

## ○横須賀市博物館研究報告(自然科学) 第60号 2013年3月

(〒238-0016 横須賀市深田台95 横須賀市自然・人文博物館)

[http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/?s=%E7%A0%94%E7%A9%B6%E5%A0%B1%E5%91%8A\(%E8%87%AA%E7%84%B6%E7%A7%91%E5%AD%A6\)&mode=6&kind=%E7%A0%94%E7%A9%B6%E5%A0%B1%E5%91%8A\(%E8%87%AA%E7%84%B6%E7%A7%91%E5%AD%A6](http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/?s=%E7%A0%94%E7%A9%B6%E5%A0%B1%E5%91%8A(%E8%87%AA%E7%84%B6%E7%A7%91%E5%AD%A6)&mode=6&kind=%E7%A0%94%E7%A9%B6%E5%A0%B1%E5%91%8A(%E8%87%AA%E7%84%B6%E7%A7%91%E5%AD%A6) 第1号(1956年)から目次を掲載。第61号には植物関連論文がない。

大森雄治：岩手県大槌湾のタチアマモの直立生殖シュートの成長(41-42)

## ○山梨植物研究

(〒400-0025 山梨県甲府市朝日1-6-8 跡部浩一方 山梨県植物研究会)

第25号 2012年4月—村田 源：スギ(1-3) / 渡辺長敬・大久保栄治：マツバニンジン *Linum stelleroides* Planch. (4-6) / 望月一二：八木沢のオハツキイチョウ(雄株)の結実について(7-11)

第26号 2013年4月—村田 源：くわしい観察と考察との上に確実な記録を工夫しよう(1-3) / 渡辺長敬：富士北麓の天然スギの分布(4-6) / 磯田 進：高室家に伝わる家伝薬、「高室五香湯」について(7-11) /

望月一二：身延町以南の常緑ラン (12-15) / 穂原 桂：ハヶ岳 (権現岳) のムシトリスミレ (16-17)  
第27号 2014年4月—村田 源：ハイマツやカラマツの生態を考える (1-2) / 中込司郎：富士山とフォッサ・マグナ要素の代表的な植物分布 (3-8) / 大久保栄治：山梨県絶滅危惧種の見直しについて (9-10) / 望月一二：身延町におけるミノブザクラについての考察 (11-14) / 磯田 進：山中湖畔に生育するヒシ類について (15-16)

### ○長野県環境保全研究所研究報告

(〒381-0075 長野市北郷2054-120 (飯綱庁舎) 長野県環境保全研究所)

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/johotekyo/kenkyuhokoku/hozen/index.html> 第1号 (2005年) から全論文をPDFで公開。

第9号 2013年3月—大塚孝一・尾関雅章・横井 力：長野県上伊那地域における常緑広葉樹シラカシ (ブナ科) の分布 (47-51) / 三石 稔・尾関雅章：長野県絶滅種コケリンドウの富士見町での生育確認 (81-83) / 中村千賀・大塚孝一・横井 力：長野市芋井地区の水田とその周辺の植物相 (91-100)

第10号 2014年3月—尾関雅章：春植物アマナの繁殖特性 (13-17) / 横井 力・大塚孝一・中山 洸：NAC寄贈標本：茅野貫一植物標本コレクションの概要 (61-66)

### ○伊那谷自然史論集 Vol.14 2013年3月

(〒395-0034 長野県飯田市追手町2-655-7 飯田市美術館)

<http://www.iida-museum.org/user/bihaku/pub-nature.htm#> 第1号 (2000年) から全論文をPDFで公開。

深町篤子・星野義延：木曾山脈天龍川流域の山地溪畔林の分布、種組成と立地 (41-51) / 蛭間 啓・大鹿村の100年先を育む会：長野県南部地域でシラオイハコベの生育を確認 (53)

### ○長岡市立科学博物館研究報告 第48号 2014年3月

(〒940-0072 新潟県長岡市柳原町2-1 長岡市立科学博物館)

[http://www.museum.city.nagaoka.niigata.jp/publish/pu\\_fr.html](http://www.museum.city.nagaoka.niigata.jp/publish/pu_fr.html) 第1号 (1960年) から目次を掲載。第47号には植物関連論文がない。

櫻井幸枝：長岡市立科学博物館所蔵の南洋ボンベイ島産植物標本 (1-8)

### ○新潟植物資料室年報

(〒956-0186 新潟県新潟市秋葉区新津東2-5-6 新津地域学園内 積雪地域植物研究所)

新潟大学学術レポジトリ <http://dspace.lib.niigata-u.ac.jp:8080/dspace/handle/10191/11393?cp=1> で2001年 (創刊号) から2011年まで全内容をPDFで公開。

2012 2013年3月—安富佐織：新津丘陵植物図譜 [5] ナガハシスミレ (1-2) / 石沢 進：分布上顕著な新津の植物 (12) (3-8) / 石沢 進・朱 雁：新津丘陵古津八幡山における維管束植物 (9-33) / 平 慎三：新津市秋葉区のホソバイヌタデ及びオニノヤガラ (34-40) / 石沢 進・朱 雁：新潟県植物分布資料 (12) (41-47) / 石沢 進：新潟市円明寺旧墓地の黒松の年輪 (48-49) / 小口成一：シロバナコシジシモツケソウの分布 (49) / 登坂裕一：新潟県シダ植物の分布追加 (6) イワヘゴの分布と生態 (50-55) / 富永 弘：魚沼市小出地域の植物 (6) (附：六日町のトウササクサ) (57-62) / 桐生 誠：新潟魚沼産植物図譜 (5) トウササクサ (63) / 渡辺洋子：佐渡における植物観察記録 11 (64-65) / 石沢 進・佐藤政二・朱 雁：エゾタツナミソウの分布と生態 (66-70) / 木村 彰：越後の植物観察記 (その10) (71-90)

2013 2014年3月—安富佐織：新津丘陵植物図譜 [6] トキワイカリソウ (1-2) / 石沢 進：分布上顕著な新津の植物 (13) (3-15) / 石沢 進・朱 雁：新津丘陵古津八幡山における維管束植物の目録追加 (16-20) / 朱 雁・石沢 進：新津丘陵の稀産種 (1) キジノオシダ・フモトシダ (21-30) / 平 慎三：新津市秋葉区における追加植物 カタクリ・ナツトウダイ・ソバナ (31) / 石沢 進・朱 雁：新潟県植物分布資料 (13) (32-41) / 登坂裕一：新潟県シダ植物の分布追加 (7) 阿賀北のシロウマイタチシダ (42) / 富永 弘：魚沼市小出地域の植物 (7) (43-46) / 桐生 誠：新潟魚沼産植物図譜 (6) オオキジノオ (47) / 渡辺洋子：佐渡における植物観察記録 12 (48-50) / 中川清太郎：佐渡の植物分布追加記録 2013 (51-57)



## ○富山市科学博物館研究報告

(〒939-8084 富山県富山市西中野町1-8-31 富山市科学博物館)

[http://www.tsm.toyama.toyama.jp/\\_ex/public/kenkyu/index.htm](http://www.tsm.toyama.toyama.jp/_ex/public/kenkyu/index.htm) 第1号(1979年)から第14号(1991年)までは目次のみ, 第15号(1992年)から第36号(2012年)まではタイトルと要旨を掲載。第37号には植物関連論文がない。

## ○富山県中央植物園研究報告

(〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42 富山県中央植物園)

<http://www.bgtym.org/kennkyuu-houkoku-backnumber2.html> 第1号(1996年)から第14号(2000年)まで全内容をPDFで公開。

第18号 2013年3月—吉田めぐみ: 立山—ノ越におけるタテヤマキンバイ個体群の構造(1-6) / 神戸敏成・岡田雄治・大原隆明: 菊咲き性サクラ品種の成長点培養における植物成長調節物質の影響(7-14) / 志内利明・神戸敏成・魯元学・王仲朗・李景秀・沈雲光・管開雲・中田政司: 中国雲南省産アヤマ科6種の細胞学的研究(英文)(15-23) / 中田政司・長井真隆: 富山県の4大河川(小矢部川, 庄川, 常願寺川, 黒部川)流域生態系調査報告書(1999~2009)で報告された水草の染色体数(25-30) / 高橋一臣: ヤダケとズダケの花粉稔性(31-34) / 山下寿之: 富山県中央植物園における早春開花植物10種の開花日(35-38) / 兼本正・志内利明・李景秀・管開雲: 中国雲南省西双版纳州および普洱市における2011年度シュウカイドウ属調査の記録(39-46) / 大原隆明・富山県中央植物園友の会植物誌部会: 富山県フロラ資料(17)(47-60) / 橋屋誠: 富山県高等菌類資料(11)(61-65)

第19号 2014年3月—兼本正: 日本産イラクサ科サンショウソウ属5分類群の形態比較(1-43) / 橋屋誠・栗林義弘・黒川悦子・種山裕一・野澤真一・野澤笑子: 奥黒部地域の高等菌類(45-53)

## ○富山の生物

(〒930-8555 富山県富山市五福3190 富山大学理学部生物学教室 富山県生物学会)

[http://www.geocities.jp/toyamaken\\_seibutugakkai/](http://www.geocities.jp/toyamaken_seibutugakkai/) 第37号(1998年)から第52号(2013年)まで目次のみ掲載, 第53号(2014年)から全内容をPDFで公開。

第52号 2013年3月—布村昇: 仏生寺川流域総合調査にあたって(1-2) / 佐藤卓・氷見栄成・金子靖志・永井知佳: 富山県氷見市仏生寺川流域に分布するモミを含む林分の森林群落構造(3-13) / 松村勉・佐藤卓・氷見栄成・金子靖志・永井知佳・末上麻衣・小川徳重: 富山県仏生寺川流域に見られるアカガシを含む林分の森林構造(13-21) / 氷見栄成・佐藤卓・松村勉・金子靖志・末上麻衣・小川徳重: 富山県仏生寺川流域に分布する落葉広葉樹林の森林構造(23-30) / 岩坪美兼: 富山県におけるトウゴマ(トウダイグサ科)の効率的な栽培方法の樹立(53-56) / 佐藤卓: 2012年全国ブナ結実状況(57-63) / 長井幸雄: 富山県植物雑記(17) 立山美女平の外来植物(145-146)

第53号 2014年3月—福田保: 黒川流域総合調査にあたって(1-2) / 金子靖志・佐藤卓・氷見栄成・野口泉・永井知佳・松村勉・海津雄: 富山県黒川河畔林に見られる森林構造(3-13) / 永井知佳・佐藤卓・氷見栄成・野口泉・金子靖志・松村勉・海津雄: 富山県黒川流域の稜線に見られる森林群落(15-24) / 岩坪美兼: 美浦憲人・氷見栄成: 神通川川原のタデ科植物(55-58) / 佐藤卓: 2013年全国ブナ結実状況(59-64) / 佐藤卓: 2013年ブナの結実と個体サイズの関係(65-71) / 長井宗路: 黒部市で確認されたサイコクヒメコウホネ(73-76)

## ○石川県白山自然保護センター研究報告

(〒920-2326 石川県白山市木滑ヌ4 石川県白山自然保護センター)

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/hakusan/publish/report/index.html> 第1集(1974年)から全論文をPDFで公開, 第22集(1995年)からは要約も掲載。

第38集 2011年12月—吉本敦子・野上達也: 砂防新道の植生帯ごとにみられる開花フェノロジーの比較: 2009~2010年(7-17) / 吉本敦子・野上達也: 砂防新道迂回路に出現したオオバコ(*Plantago asiatica* L.)とフキ(*Petasites japonicus* (Sieb.et Zucc.) Maxim.)の分布と個体サイズ(19-26) / 野上達也・中村こすも・小谷二郎・野崎英吉・吉本敦子: 石川県のブナ科樹木3種の結実予測とクマの出没状況, 2011(27-46)

第40集 2013年12月—野上達也: 白山国立公園市ノ瀬におけるニセアカシア(*Robinia pseudoacacia*)の

分布 (1-4) /野上達也・中村こすも・小谷二郎・野崎英吉:石川県のブナ科樹木3種の結実予測とクマの出没状況,2013 (5-16) /野上達也:白山公園線(石川県)におけるセイタカアワダチソウ (*Solidago altissima*) の分布と除去 (2) (17-22)

(訂正 61巻1号55頁, 石川県白山自然保護センター研究報告 第37集 2010年→第39集 2012年)

#### ○河北潟総合研究

(〒920-0267 石川県河北郡内灘町字大清台302 NPO法人河北潟湖沼研究所)

<http://kahokugata.sakura.ne.jp/htmls/sougouken.html> 第1巻(1997年)から第3巻(1999年)までは目次を, 第4巻(2000年)からは全論文をPDFで公開。第16巻には植物関連論文がない。

#### ○石川県立自然史資料館研究報告

(〒920-1147 石川県金沢市銚子町441 石川県立自然史資料館)

<http://www.n-muse-ishikawa.or.jp/motto/publish.html> 第1号(2011年)から第3号(2013年)まで全論文をPDFで公開, 第4号(2014年)からは要約のみを公開。

第3号 2013年3月—高木政喜・白井伸和:上野海岸におけるウミミドリの生育環境~植生調査と土壤塩分濃度の測定から~ (1-9) /中野真理子・本多郁夫:石川県新産キク科外来種キバナコウリンタンポポ *Pilosella caespitosa* (Dumort.) P.D.Sell et C.West. とハイコウリンタンポポ *Pilosella officinarum* F.Schultz & Schultz-Bip. (11-14) /古池 博・本多郁夫・濱野一郎・中野真理子・野村外喜子・小野ふみ糸・白井伸和・高木政喜・米山競一:金沢城公園(金沢城址)の植物相, その現状と挙動 3. 金沢城公園の植物相交代における種類の属性構成の特徴と総合的考察 (15-43) /中野真理子・但田陽子:陸前高田市立博物館の東日本大震災罹災植物標本の修復活動 (65-68)

第4号 2014年3月—中野真理子:異質倍数体種トウカイコモウセンゴケの葉フェノロジー (3-7) /古池 博・白井伸和:白山の高山帯・亜高山帯の植生地理とその長期変動 1. 南龍ヶ馬場の雪田群落の最近約半世紀間の減少 (17-22) /大須賀さや・北村俊平:止まり木でスギ人工林への鳥類による種子散布は増加するの か? (37-44) /由利 萌・北村俊平:石川県立大学キャンパスにおけるキク科アキノノゲシとセイタカアワダチソウの訪花昆虫の多様性 (45-53) /古池 博・高内 香(描画):石川県草本植物図譜 (55-56)

#### ○福井市自然史博物館研究報告 第60号 2013年12月

(〒918-8006 福井県福井市足羽上町147 福井市自然史博物館)

<http://www.nature.museum.city.fukui.fukui.jp/shuppan/kenpou/kenpou.html> 第39号(1992年)から全論文をPDFで公開。第57~59号には植物関連論文がない。

中村幸世・吉澤康暢:足羽山のモウソウチクのタケノコの成長速度 (45-54)

#### ○岐阜県植物研究会誌

(〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 岐阜大学教育学部生物学教室植物分類研究室 岐阜県植物研究会)

第27巻 2011年12月—柳沢 直:放棄水田の耕起による植物相の変化について (1-6) /野村勝重:岐阜県に見られるモクレン科植物 (7-9) /三品和子:岐阜県のホロムイソウ科 (10) /大澤律子:岐阜県のサクラソウ科 (11-15) /廣田艶子:岐阜県のアワゴケ科 (16-17) /古田之子:岐阜県に見られるビャクダン科とヤドリギ科植物 (18-19) /安井佳代:岐阜県のクミ科 (20-21) /福岡義洋:岐阜県に見られるマメ科植物 (22-56) /福岡義洋:岐阜県に見られるモチノキ科植物 (57-62) /佐藤和良:岐阜県に見られるキンポウゲ科(トリカブト属を除く)植物 (63-81) /佐藤和良:岐阜県に見られるアオイ科,アオギリ科およびジンチョウゲ科植物 (82-90) /佐藤和良:岐阜県に見られるノウゼンカズラ科, キツネノマゴ科, イワタバコ科, ハマウツボ科およびハエドクソウ科植物 (91-95) /高橋 弘・寺沢悦湖:岐阜県におけるヒガンバナ科植物の分布 (96-99) /高橋 弘:岐阜県におけるマンサク科植物の分布 (100-106)

第28巻 2012年12月—清水英彦:岐阜県のニシキギ科 (1-7) /清水英彦:岐阜県のミソハギ科 (8-18) /箕浦博之:岐阜県のカキノキ科 (13-14) /廣田艶子:岐阜県のヤマゴボウ科 (15-16) /佐藤和良:岐阜県に見られるシナノキ科及びユズリハ科植物 (17-19) /佐藤和良:岐阜県に見られるクワ科植物 (20-24) /荻山恒弘:シダ植物雑記 (25-27)

## ○豊橋市自然史博物館研究報告

(〒441-3147 愛知県豊橋市大岩町字大穴1-238 豊橋市自然史博物館)

<http://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/06shuppan/kenyuuho/syuppan-kenpou.html> 第1号(1991年)から第10号(2000年)までは目次を, 第11号(2001年)からは全論文をPDFで公開。第22号(2012年)~24号(2014年)には植物関連論文がない。

## ○ため池の自然

(〒467-8610 名古屋市瑞穂区汐路町3-40 名古屋女子大学食品衛生学研究室 杉山 章方 ため池の自然研究会)

[http://www.geocities.jp/tukanoiri/99\\_blank001.html](http://www.geocities.jp/tukanoiri/99_blank001.html) 第1号(1983年9月)から第51号(2011年12月)までの総目次を掲載。

第53号 2012年12月—吉鶴靖則・佐々木英樹:名古屋市守山区のアオカワモズクの記録(2-5) / 吉鶴靖則・小出恭章:豊田市高橋区寺部池の秋期池干し時の植生(6-9) / 浜島繁隆・飯尾俊介:塚ノ杵池(名古屋市名東区)堤回収後の植物相の変化(短報)(10-12) / 村松正雄:愛知県内のセトヤナギスブタの現状(13-14) / 飯尾俊介:ため池の自然研究会・観察記録(2012年9月30日)愛知県森林公園 大広見池の植物(15-19)  
第54号 2013年9月—吉鶴靖則・川田奈穂子:ヒメミクリの保全事例(1-9)

## ○みねはな 第60号 2013年3月

(雑誌問い合わせ先 〒614-8315 京都府八幡市橋本北ノ町70 西山昌代)

藤井俊雄:御岳の珍花, ゴモクシャクナゲについて(1-7) / 富山 稔:南アメリカのロゼットビオラ(8-9) / 神園英彦・森 和男:「かけがえのなさ」を問う 日本の稀少・絶滅危惧植物(3)ラン科植物③(10-11) / 金子明雄:和辻哲郎「百椋池の蓮」(12-20) / 高橋 亮:ミヤコアオイの自生地訪問と花(21-23) / 寺本富壽:オオバヨウラクランに魅せられて自宅庭にて栽培に挑戦中(24-25) / 森 和男:トラキチランとアオキラン—谷亀氏原稿の前に—(26-28) / 谷亀高弘:トラキチランとアオキラン(29-33) / 井上康彦:ヤマラッキョウの分類事始 1(34-42) / 瀬野純一:日本産テンナンショウ(43-59) / 高林成年:日本に導入されたキリタ属植物(60-65) / 白井伸和:白山の絶滅危惧植物の現状と未来(66-69) / 本庄哲二:山草, 山草会と共に60年(72-81) / 本田 実:あるプリムラの記 一鉢にそそぐ視線の意味(82-84) / 橋本 薫:僕の雪割草栽培(85-88) / 小川聖一:松山での山野草栽培史と現状と私(89-91) / 古木 茂:私の実生栽培の楽しみ方(92-93) / 合田隆行:続 山野草偉人伝 草匠の譜(94-100) / 今川 弘:高知県のイカリソウ(101-103) / 日原誠介:日本レッドデータプランツ繁殖記(16) —北海道固有の植物—(104-108) / 伊東吉夫:タネから育てる希少山野草(109-117) / 渡邊高志:工石山で見られた有用植物(3)~地域植物資源コンテンツの拡充と利活用を促進する地域フィールド活動支援プラットフォームの研究開発~(118-125) / 安田博武:希少植物・ズカケソウについて(126-131) / 武部雅子:2009年 カナダ・ニューファンドランド花紀行(138-140) / 清水美重子:ハワイ島 火の女神ペレの化身「オヒア・レフア」(141-145) / 梅田 衛:ブルンスピギア・エランズモンタナが咲きました(146-152) / 高木芳子:ラフレシアに会いに(153-155) / 井上修爾:ロンドンで山草をつくる(156-159) / 石川 律:殿ヶ戸庭園のサガミラン(10-161) / 石田源次郎:鮮黄色のツチアケビ(162-163) / 久山 敦:熱帯の高山にプリムラを(164-168) / 美崎英生・陽子:南西オーストラリアの奇妙なラン(169-182) / 水野重昭:積雪地での山野草の冬越しについての数例(183-187) / 西口紀雄:イズアサツキ観察記(188-190) / 森 和男:アサルム・スプレンドゥス(青城細辛)の導入(193-195) / 村田 源:東京大学インド植物調査隊の思い出(196-201) / 荻葉樹徳:伝統園芸植物という言葉について(210-214) / 森 和男:タツタソウの栽培とその来歴(215-229) / 山口清重:種子採りジプシー五十年(230-232) / 由 良:げんじすみれ(233-237) / 瀬戸 剛:畔田翠山さく葉帖の金剛山志の植物(238-243)

(訂正:61巻1号56頁, みねはな 第58号2011年→第59号2012年)

## ○近畿植物同好会誌 第37号 2014年1月

(〒639-0254 奈良県香芝市関屋北5-5-21 織田二郎方 近畿植物同好会)

[http://kinshoku.eco.coocan.jp/kaisi\\_zaike.html](http://kinshoku.eco.coocan.jp/kaisi_zaike.html) 会誌第2号(1970年)以降のバックナンバーの在庫がある号の論文タイトルを掲載。



金剛山調査ネコノメソウ班：金剛山調査ネコノメソウ班まとめ (1-9) / 平野弘二：冬芽による検索表 (3) (10-18) / 豊原 稔：岸和田市摩湯山古墳林の調査 (2) (19-24) / 山脇和也・織田二郎・大森裕子・権藤啓子：キイハナネコノメを三重県の紀宝町で2013/03/22初記録 (25-26) / 村田 源：近畿地方植物誌補遺・訂正ノート8 (27-29) / 藤井俊夫：大阪府にハナノキは産しない (30-33) / 澤澤美穂：フチゲハグロソウの観察図 (34) / 岡島一允：大阪・能勢町のため池の水草と食虫植物 (35-37) / 加田勝敏：鈴鹿山脈北部の植物相 (XII) 種子植物 (38-49) / 社寺林調査委員会：大阪府社寺林調査の基礎データ (9) (50-59)

### ○南紀生物

(〒646-0028 和歌山県田辺市高雄1-25-18 玉井済夫方 南紀生物同好会)

[http://nankiseibutu.jp/nankiseibutu\\_hyosi.html](http://nankiseibutu.jp/nankiseibutu_hyosi.html) 第50巻1号 (2008年) から第56巻1号 (2014年) までの目次を掲載。

第55巻第1号 2013年6月—山本修平：近畿地方におけるシバナ (シバナ科) の分布 (44-45)

第55巻第2号 2013年12月—山本修平：和歌山県絶滅危惧植物目録 (2) 種子植物予報 (131-136)

### ○兵庫の植物

(〒654-0121 明石市大蔵谷清水583-36 小林禮樹 兵庫県植物誌研究会)

第23号 2013年5月—小林禮樹・坂野上彰子・黒崎史平：神戸市須磨区の団地内植え込み付近で確認されたクゲヌマラン (1-4) / 山本義則・小林禮樹・黒崎史平：兵庫県宝塚市の武庫川で確認された兵庫県新産のケイリュウタチツボスミレ (5-6) / 小林禮樹・丸岡道行・黒崎史平：兵庫県で最近確認されたキバナサバノオ (キンボウゲ科) の新産地とその生育環境 (7-10) / 安藤義則・奥本康之：朝来市生野町黒川地域周辺の植物とシカの食害 (11-16) / 松岡成久：西宮市の都市化が進む耕作地周辺の植物相と稀少種 (17-20) / 矢内正弘：兵庫県産の植物図 (16) バラ科 (21-66) / 小林禮樹・黒崎史平・宇那木 隆・松尾幹生・松岡成久・柳川 宏：洲本市由良町に移植されたハマアザミの生育状況の推移 (5) —2012年の個体群追跡調査— (67-74)

第24号 2014年6月—山本義則・小林禮樹：兵庫県で生育が確認されたレッドデータ植物のネコノメソウ属2種 (ユキノシタ科) (1-4) / 松岡成久：兵庫県にみられるフトイとオオフトイ (カヤツリグサ科) の形態的特徴 (5-8) / 小林禮樹：ハリマムシグサ個体群 (神戸市北区) における20年間の個体数変動とそれをもたらした要因 (9-12) / 小林禮樹・野口彰子：神戸市西区にあるハリマムシグサ個体群に対する神戸市による10年間のモニタリング調査 (13-16) / 澤田佳宏：南あわじ市吹上浜における工事区域の植生とピロードテンツキ (カヤツリグサ科) の現状 (17-20) / 小林禮樹・鈴木 武・白岩卓巳：兵庫県におけるヒメムカゴシダ (コバノイシカグマ化) の新たな自生地の発見とシカ食害の状況 (21-24) / 小林禮樹・黒崎史平・矢内正弘・宇那木 隆・丸岡道行・松尾幹生・松岡成久・藤井俊夫：洲本市由良町に移植されたハマアザミの生育状況の推移 (6) —2013年の個体群追跡調査— (25-32) / 橋本光政：兵庫県のフロラ解明の黎明期につくられた多紀連山の分布図 (33-36) / 黒崎史平・小林禮樹：兵庫県のフロラに関する文献目録補遺 (2) (37-83)

### ○倉敷市立自然史博物館研究報告

(〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1 倉敷市立自然史博物館)

<http://www2.city.kurashiki.okayama.jp/musnat/publication.htm#no1> 第1号 (1986年) から第29号 (2014年) までの論文タイトルを掲載。

第28号 2013年3月—岡本泰典：岡山市矢坂山の植物目録 (1-27) / 片山 久・狩山俊悟・溝手啓子・木下延子・貝原千恵子・一色昌子：北海道礼文島の植物—カヤツリグサ科, イネ科 (タケ亜科), ヤナギ科— (51-55) / 狩山俊悟：岡山県植物誌資料 (12) 岡山県のスイカズラ科 (65-103) / 岡本泰典：「岡山市吉備中山の植物目録」への追加 (107-108)

第29号 2014年3月—狩山俊悟：岡山県植物誌資料 (13) 岡山県のモクセイ科 (47-66)

### ○岡山県自然保護センター研究報告 第20号 2013年3月

(〒709-0524 岡山県和気郡佐伯町田賀730 岡山県自然保護センター研究報告編集委員会)

[http://opnacc.eco.coocan.jp/chosa-kenkyu/kenkyu-hokoku.html#kenkyu\\_01](http://opnacc.eco.coocan.jp/chosa-kenkyu/kenkyu-hokoku.html#kenkyu_01) 第1号 (1994年) から第20号 (2013年) まで全論文をPDFで公開。

森 生枝：岡山県東部の自然保護地域におけるニホンジカによる採食の記録—痕跡が見られた植物から (7-

20) /西本 孝: 岡山県自然保護センター湿生植物園 7. 設立後14年目から21年目までの管理 (21-36)

○**莎草研究 (すげの会会報)** 第18号 2013年12月

(〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1 岡山理科大学生物地球学部 星野研究室内 すげの会)

<http://hos0.big.ous.ac.jp/~suge/news2.htm> 旧誌名「すげの会会報」創刊号(1990年)から17号(2013年)までの論文タイトルを掲載。

織田二郎: アオバスケ, アオヒエスケとシュロジュズスケの区別点 (1-13) / 勝山輝男・大西 亘・田中徳久: ツンベリが日本で採集したスゲ属植物 (15-26) / 武田千恵子: 北海道立自然公園 野幌森林公園におけるカヤツリグサ科植物の変遷と分布 (27-38) / 北村孔志・柿嶋 聡・吉村 仁・秦中啓一: 静岡県東神田川における絶滅危惧植物ハタバカンガレイ (カヤツリグサ科) の個体群動態 (39-48) / 矢野興一: オーストラリア・ニューサウスウェールズ州で採集したカヤツリグサ科植物 (49-62) / 正木智美・星野卓二・任炯 卓: 韓国全羅北道, 全羅南道および光州広域市のスゲ属植物 (63-74)

○**島根県立三瓶自然館研究報告**

(〒694-0003 大田市三瓶町多根1121-8 島根県立三瓶自然館)

<http://nature-sanbe.jp/sahime/muse/papers/papers.htm> 第1号(2003年)から全論文をPDFで公開。

第11号 2013年3月—横川昌史・宇野公子・井上雅仁・高橋佳孝: 阿蘇東外輪山の半自然草原における植物群落の開花フェノロジーと種ごとの生活史特性の関係 (1-14) / 井上雅仁: 三瓶山姫逃池におけるカキツバタ群落の保全活動と植生動態 (15-20)

第12号 2014年3月—太田陽子・堤 道生・井上雅仁・高橋佳孝: 秋吉台およびその周辺地域における明治期および現代の草地分布 (1-7) / 井上雅仁・杵村喜則: 隠岐諸島油井の池の湿地植生の現状と過去30年間の変遷 (9-16)

○**徳島県立博物館研究報告**

(〒770-8070 徳島市八万町向寺山徳島県文化の森総合公園 徳島県立博物館)

<http://www.museum.tokushima-ec.ed.jp/kiyo.html> 第1号(1991年)から第17号(2007年)までは目次を, 第18号(2008年)からは全論文をPDFで公開。

第23号 2013年3月—米田稀美・土屋正行・谷口 舜・近藤茂則・濱 直大・茨木 靖: 徳島県および和歌山県の微小漂着種子に関する予備調査 (113-117) / 濱 直大・茨木 靖・許 再文: 徳島に漂着したオニガシ *Lithocarpus lepidocarpus* (Hayata) Hayataの果実についての記録 (119-121) / 小川 誠: 徳島県産の新帰化植物カロライナツユクサ (ツユクサ科) について (123-125) / 茨木 靖・小川 誠・木下 覺・成田 愛治・中村俊之・矢野興一: 徳島県におけるハタバカンガレイ *Schoenoplectus gemmifer* C.Sato, T.Maeda et Uchinoの生育状況 (127-130) / 茨木 靖: 徳島県に漂着したヒメモダマ *Entada phaseoloides* (L.) Merr. (ネムノキ科) の発芽試験 (131-132)

第24号 2014年3月—小川 誠: 旧吉野川流域におけるナガエツルノゲイトウの分布 (23-34) / 茨木 靖・木下 覺・矢野興一・小川 誠: ジョガマル池におけるノグサ *Schoenus apogon* Roem. et Schult.の生育状況 (77-80) / 井原木靖・菊間泰汜・久米 修・ステファン・レンボイツ: 香川県で発見されたイネ科小穂形態異常の記録 (81-82) / 黒沢高秀・木下 覺・田淵武樹・成田愛治・中村俊之・小川 誠・茨木 靖: 徳島県のナツトウダイ類 (トウダイグサ科) の形態と分布 (83-86) / 小川 誠: 愛媛県のツクシタンポポ (87-90)

○**長崎県生物学会誌**

(〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14 長崎大学教育学部生物学教室内 長崎県生物学会)

<http://park.geocities.jp/gbht018/> No.1 (1971年) から全目次を掲載。

No.72 2013年6月—蓑田清隆: 平戸のムラサキカラマツとオオミヤマカラマツについて (オオミヤマカラマツの再発見) (27-31) / 中西弘樹: 長崎県植物誌ノート (39) (32-35) / 中西弘樹: 種子散布の謎を解く (41-45)

No.73 2013年12月—中西弘樹: 長崎県の固有植物種について (10-13) / 中西弘樹: 長崎県植物誌ノート (40) (14-17)

No.74 2014年7月—中西弘樹・江頭一政・蓑田清隆: 大立島の植生と植物相 (1-6) / 千々布義朗: 長崎県

産野生生物拾遺 (4) (12-15) / 中西弘樹: 長崎県植物誌ノート (41) (16-19)

○佐賀自然史研究 第18号 2013年5月

(〒849-0303 佐賀県小城郡牛津町大字牛津152-4 上赤博文方 佐賀自然史研究会)

<http://www.geocities.jp/sagashizen/> 第1巻(1995年)から全目次を掲載。

上赤博文: 佐賀県で新たな分布が確認された植物 (7) (5-10) / 上赤博文: 佐賀平野の水草2012年のトピックス (11-14)

○宮崎県総合博物館研究紀要

(〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4-4 宮崎県総合博物館)

第33輯 2013年3月—斉藤政美・中武英則: 新種モロツカウワミズザクラについて (65-70)

第34輯 2014年3月—福松東一: 宮崎県内におけるシロヨメナ群の形態的特徴と分布 (51-62) / 斉藤政美: ホクリクムヨウラン宮崎県に産す (63-64) / 斉藤政美: 新種ヒュウガヤブレガサについて (65-71) / 宇野慈妙子・百原 新・森川政人・澤 純一・福松東一: 絶滅危惧種ノカイドウ (*Malus spontanea* Makino) の種子の寿命とノカイドウ生育地の埋土種子組成 (83-90)

○鹿児島県立博物館研究報告

(〒892-0853 鹿児島市城山町1-1 鹿児島県立博物館)

<https://www.pref.kagoshima.jp/bc05/hakubutsukan/shien/bulletine.html> 第1号(1982年)から全論文をPDFで公開。

第32号 2013年3月—大屋 哲: 鹿児島県喜界島の植物採集記録 (63-66) / 大屋 哲: 鹿児島県沖永良部島の植物採集記録 (67-71) / 寺田仁志・川西基博・大屋 哲・手塚賢至・斉藤俊浩・金谷整一: 屋久島瀬切川左岸のヤクタネゴウ林について (73-94) / 寺田仁志・川西基博・久保紘史郎・大屋 哲: 種子島阿嶽川・大浦川のマングローブ林について (95-115)

第33号 2014年3月—寺田仁志・川西基博・久保紘史郎: 種子島本村海岸の砂丘地植生について (1-26)

(中田政司 編)